



2018年12月3日 (月)

NO. 914号

本号3頁

**6日、再び会長職権で審査会を開催し、改憲案提示の強行か! 「憲法審査会を開くな」のFAX要請を全力で!**

**衆院憲法審査会を会長職権で開催!  
与野党合意の慣例を破る「おきて破り」**

衆院憲法審査会は29日、森英介会長（自民党）の職権で今国会初めて開かれ、審査会の運営を協議する幹事を選任しました。憲法審が職権で開かれるのは異例です。与野党合意の慣例を破ったと怒る立憲民主党、日本共産党など野党6党・会派は欠席しました。

憲法審査会には自民、公明両党と日本維新の会、希望の党の井上一徳議員、野党会派「未来日本」の長島昭久議員が出席。（希望の党と「未来日本」は、本来は議員数により憲法審査会の委員の席はありませんでしたが、自民党がそれぞれに1席譲り、席を得ました。憲法改正推進の「野党」の発言する機会を増やそうとする思惑でしょうか？）

野党6党・会派は出席の呼びかけに応じず、欠席。そのため森会長の指示で幹事候補らが野党を呼びに出かける「茶番劇」を行い、予定より25分遅れ、開会しました。

森会長が、野党との交渉役を担う自民の新藤義孝・与党筆頭幹事ら6人の幹事候補の名を呼びあげて提案し、了承され、わずか2分で閉会しました。

この暴挙に強く反発する野党6党・会派の国会対策委員長は29日、自民の森山裕国対委員長に「絶対やってはならない、おきて破りだ。憲法論議は100年遅れる」（立憲の辻元清美国対委員長）などと抗議しました。

今国会で自民は、継続審議中の国民投票法改正案の成立と党の「改憲4項目」の提示を目指してきました。12月10日の会期末まで残る衆院憲法審の定例日は12月6日だけで、立憲など野党に憲法審査会の開催を呼びかける方針としています。

新藤氏は会見で「国民に責任を果たすという意味において、これはやらなければならないことだった」と釈明。「このまま終わりましたで、責任を果たせるかという思いがある」と述べ、4項目の提示を最後まで追求していく姿勢を示し、6日も同様の「会長職権」による強行開催に意欲を示しています。一方、下村自民党憲法改正推進本部長も記者団に「憲法審査会の自由討議で党の条文イメージ案を発表できるように努力したい」と語りました。

これに対して、野党側は態度を一層硬化させています。また、さらなる職権開催には与党内にも慎重論が残り、公明党幹部は「自分たちの主張だけ言いたいのなら、憲法審査会を使う必要なんていない」とクギを刺しています。

10:00頃	野党欠席のまま、幹事懇を開催
10:10頃	自民党席に、上川・稲田・石破委員、干された中谷・船田委員らが着席。新しく委員となった希望の党・未来日本の井上・長島議員らも着席。野党は欠席
10:17頃	森会長の指示で幹事候補らが野党を呼びに出向く
10:35頃	呼びに出かけた平沢幹事らが戻る
10:36頃	森会長「出席が得られない。やむを得ず議事をすすめる」と進行。6人の幹事の名を読み上げ、同意を求めた。
10:38頃	閉会

## 「憲法審査会を開催するな」とのFAX要請行動等を強めましょう

憲法会議は22日に、「今臨時国会での憲法審査会開催阻止に向けたFAX要請行動等の要請」との文書を都道府県憲法会議・参加団体に送付し、次の3点のたたかいを呼びかけています。

- ①与野党役員や衆参憲法審査会委員への憲法審査会開催しないことを求めるFAX要請
- ②地元選出の議員・事務所への要請行動
- ③3000万署名等の改憲阻止に向けた街頭宣伝・個別訪問、憲法ポスターの貼り出し等による宣伝・署名運動の強化

なお、②・③については、ともに3000万人署名に取り組んでいる地域の仲間と相談して積極的に進めるよう、要請しています。さらに、衆参憲法審査会委員の名簿（FAX番号も記載）は憲法会議のホームページに掲載しました。

是非、多くの皆さんが取り組んでいただくよう、お願いします。

## 全教 FAX要請行動にとりくむ！

このように自民党は「おきて破り」の会長職権による憲法審査会開催を行う手段に出て来ました。しかし、与党内にも批判の声も出しており、今なすべきことは憲法会議が22日に呼びかけた政党や審査会委員に対する「憲法審査会を開催するな」とのFAX要請行動等です。地方憲法会議の取り組みとして大阪憲法会議のとりくみを紹介しましたが、今号では参加団体のとりくみとして全教のFAX要請行動を紹介します。

全教は28日に、構成組織執行委員長あてに、「今臨時国会での憲法審査会開催阻止に向けた緊急FAX行動のお願い」を送付しました。



日頃のご奮闘に敬意を表します。

さて、臨時国会の会期末が迫り、安倍9条改憲を許すかどうかの重要な段階を迎えています。自民党は289の小選挙区ごとに「憲法改正推進本部」を今年中に設置する方針を掲げ、何としても憲法審査会を動かそうと継続審議となっている国民投票法案の臨時国会での審議を繰り返し野党に呼びかけています。

このようなもとの、自民党の改憲案の提示を許さず、改憲論議を許さないために、憲法審査会を開催させないたたかいが求められています。先の通常国会で衆院憲法審査会での議論はできず、今国会でも22日までの衆院憲法審査会の開催を許していません。世論調査では、多くの国民が「憲法改正には反対だ」「臨時国会での国会発議に反対」との意思を示しています。国民とともに、臨時国会での憲法審査会の開催を阻止するたたかいを強めることが何より重要になっています。

全教は、緊急の取り組みとして、「今臨時国会での憲法審査会開催阻止に向けた緊急FAX行動」を提起します。下記の要領で、各組織における積極的なとりくみをお願いします。

記

### 一. 要請文

- ①立憲民主党、国民民主党、日本共産党、無所属の会、自由党、社民党の代表・党首  
「今臨時国会での憲法審査会の開催を阻止してください」（添付①）
- ②自民党、公明党、日本維新の会、希望の党の代表・役員  
「今臨時国会での憲法審査会の開催断念を求めます」（添付②）
- ③憲法審査会委員（立憲民主党、国民民主党、日本共産党、無所属の会、自由党、社民党）  
「今臨時国会での憲法審査会の開催を阻止してください」（添付③）
- ④憲法審査会委員（自民党、公明党、日本維新の会、希望の党）  
「今臨時国会での憲法審査会の開催断念を求めます」（添付④）

### 一. FAXの要請先

- ①与野党代表・党首 ⇒ すべての組織からお願いします（添付⑤）
- ②衆議院・参議院憲法審査会委員  
⇒ ブロックの分担にもとづいてお願いします（添付⑥⑦）

このように、政党代表・党首には全ての組織から要請し、衆参の憲法審査会委員にはブロックごとに分担し、担当となって委員に要請するよう、きめ細かく、とりくみ呼びかけています。そして、①と②のように憲法改正に反対する政党と、改正を推進する政党に分けて要請文のひな形を添付しています。憲法審査会委員への要請文も同様に分け、ひな形を添付して呼びかけています。

## 総がかり行動実行委員会が緊急行動を呼びかける！

総がかり行動実行委員会は、6日も同様の形で開かれる可能性が濃厚だとして、緊急行動を行うことにしました。

**憲法審査会強行開催糾弾！ 自民政憲案「提出」許すな！ 12・6早朝緊急抗議行動**

日時：12月6日（木） a m9：00～

場所：衆議院第2議員会館前

主催：総がかり行動実行委員会

## 市民連合 シンポ「安倍政権にかわる新しい選択肢」を開催

市民連合は28日、シンポジウム「安倍政権にかわる新しい選択肢」を都内で開催し、800人が参加しました。シンポジウムには立憲民主党・福山哲郎氏、国民民主党・平野博文氏、日本共産党・小池晃氏、社会民主党・吉川元氏、自由党・森裕子氏、無所属の会・大串博志氏の5野党1会派の幹事長・書記局長が勢揃いしました。

市民連合の廣渡清吾東大名誉教授が「今日のシンポジウムは、安倍政権にかわる新しい選択肢のテーマで立憲野党が臨時国会、参議院選を共同でどうたたかうかについて議論していただく。国民にわかる政策を練り上げ、参院選では最小目標でも3分の1、過半数を獲得して野党連合政権への展望を開こう」と、主催者挨拶しました。

そして、山口二郎法大教授と諏訪原健さんがコーディネーターで「臨時国会の現状と、どうのぞむか」について各党から発言。6人から、衆院で極めて短い審議時間で強行された入管法などの国会を軽視した強権安倍政治に対する厳しい指摘と選挙で変えなければとの思いが語られました。また、通常国会、臨時国会をつうじて野党共闘が強化され、力を発揮していることも表明されました。



そして、来年参議院選挙に向けては、6人全員から1人区での候補者一本化の表明がありました。平野博文国民党幹事長は「野党共闘したらこのようにしていきますよ、これをもっと明確にしていかななくてはならない。政党の違いだけを言うのではなく小さな事でも共有化し、市民連合の皆さんと闘える環境をどうつくっていくかが大事」と発言。小池晃共産党書記局長は「5党1会派の幹事長・書記局長が勢揃いして1人区の統一を確認したことは重要。国民にとって魅力ある共通政策を確立するとともに勝つための本気の共闘が求められる」と強調しました。

「政策で重視すべきは」との投げかけに、「国民の暮らし第一に」が一樣に強調されました。シンポジウムの合間には、各党への3000万署名の手渡しが行われました。

## 憲法共同センターが、3000万人署名63万人分を提出！

28日の昼に開催されました国民大運動実行委員会主催の国会前集会で、3000万人署名の提出が行われました。この日は、憲法共同センターが集めた46万8967人、全国市民アクションに届いた16万2247人、合わせて63万1214人の3000万人署名が提出されました。

署名を日本共産党の二比聡平参院議員に手渡した新日本婦人の会の笠井貴美代会長は、紙芝居をつかって駅頭などで上演しながら署名を集めていることなどを紹介し、「新婦人として104万人分まで到達したが、一日も早く目標の150万人をやりあげたい」と決意を語りました。

この集会では、沖縄・辺野古新基地建設工事の中止と米軍普天間基地の無条件撤去を求める1万2325人分の署名も提出されました。